

1. 横手市生活排水処理構想について

1-1 横手市生活排水処理構想の背景と目的

本市は、平成17年10月1日、旧横手市、旧増田町、旧平鹿町、旧雄物川町、旧大森町、旧十文字町、旧山内村、旧大雄村が合併し、新たな「横手市」として誕生しました。

これにより、秋田県内で秋田市に次ぐ第二の人口規模をもつ都市となりました。

本市の生活排水処理人口普及率は、75.2%（平成27年度末現在）で、全国平均89.9%を下回っており、未普及地域への生活排水処理施設の早期整備が課題となっています。

一方、既整備地域の増大した下水道管渠やポンプ施設等の、生活排水処理ストックの老朽化対策や改築・更新が求められています。

このような中、国ではより効率的な汚水処理施設の整備・運営管理を計画的に実施していくため、汚水処理を所管する3省（国土交通省・農林水産省・環境省）が連携し、3省統一の初のマニュアル「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」を公表しました。

この公表にともない、本市においても平成27年度に公表した「横手市下水道中長期ビジョン」に基づき、「横手市生活排水処理構想」を策定することとしました。

「横手市生活排水処理構想」では、生活排水処理未整備区域における、整備手法の再検討による早期整備と、既整備地域における生活排水処理の最適化を目指し、各施設の連携・統合も含めた、より効果的・効率的な整備・運営管理手法を検討することにより、持続可能な生活排水処理サービスの提供に向けた経営基盤の強化を図り、市民の快適な生活環境と良好な水環境の保全を実現していくことを目的とします。

1-2 横手市生活排水処理構想の位置付け

本市では下水道の目指すべき将来像や運営方針を明確化し、より適切に施策を推進するとともに、透明性が高く、効果的・効率的な事業運営を目指すために「横手市下水道中長期ビジョン」を策定しています。

この下水道中長期ビジョンの具体的取組みにおいて、「アクションプラン（今後10年間での汚水処理の概成を目指した計画）による汚水処理整備」と「汚水処理全体で見た最適化手法の確立」が掲げられています。

「横手市生活排水処理構想」は、これらの具体的な取組みを実行する指針となるものです。

1-3 横手市生活排水処理構想の構成と計画期間

横手市生活排水処理構想(以下、「本処理構想」という。)は、生活排水処理の10年概成を目指す「中期計画(アクションプラン)」と、既整備地域の連携・統合も含めた生活排水処理の最適化を目指す「長期計画」の、二本柱で計画を策定します。

また、策定した本処理構想の客観性や透明性の確保、並びにその着実な実行のため、ベンチマーク(指標)の公表により、事業内容及び進捗状況の「見える化」を図ります。

計画期間につきましては、「中期計画」は平成28年度から平成37年度の10年間、「長期計画」は平成28年度から平成47年度の20年間とします。



図1 生活排水処理構想の構成

横手市のマンホール蓋のデザインについて

横手市の下水道や集落排水等の整備事業は、市町村合併前から進められており、それぞれの地域の特色を表したマンホール蓋が設置されています。

合併後の新「横手市」においても、各地域が歴史をかけて培ってきた文化や特色を、地域の宝として次代につなげる願いを込めて、それぞれの地域においてデザインを継承した蓋を設置することとし、現在、11種類のデザイン蓋が市内各地域に設置されています。

各地域のマンホールのデザイン蓋を紹介していきます。(4P・13P・19P・33P)



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」